

第 158 回 番組審議会資料

株式会社エフエムしみず

日 時 令和 4 年 11 月 7 日(月) 午後 1 時 30 分～清水マリンターミナル会議室

審議委員 望月紀久朗委員長、小堺昭宏委員、新井映子委員、青木真咲委員

以上 4 名

(書面審議) 大塚 泰委員、岡嶋基晴委員、(欠席) 伊藤公一委員

エフエムしみず出席者 堀川恵司、西智樹、佐野勝美、是永真由子

【審議対象番組】

<今回審議>

9 月 23 日夜半から 24 日未明、静岡県に最接近した台風 15 号は、県内各地に大きな被害を齎しました。とりわけ、清水区は未曾有の豪雨の影響から長期間に亘っての大規模断水が発生し市民生活が混乱した事は記憶に新しいところです。

9 月 23 日(金) 夜半から現在に至るまでの「令和 4 年 9 月台風 15 号災害に対する情報発信」についてご審議頂きます。

◆10/4(火) 10:30～10:50 頃放送 台風 15 号支援情報

台風 15 号が室戸岬の南 300km で発生したのは 23 日(金) 午前 9 時頃。東海道沖で温帯低気圧に変わったのは翌 24 日(土) 午前 9 時でした。気圧も 1000hPa と小規模台風でした。

しかし、時間雨量 110 ミリ以上の場合に発表する「記録的短時間大雨情報」は 16 回を数えました。また、被害が清水区に集中した事実からも「特異な台風」とも云えます。

エフエムしみずでは、23 日夜～現在に至るまで「避難指示・交通・断水・給水・停電・休園休校・行政支援・民間企業団体支援・ボランティア情報など」広範囲に亘り情報発信に努めています。また、29 日(木) からは行政・民間の支援情報を HP に掲出し、情報発信に努めてきました。

以下は、9 月 23 日(金)～10 月 7 日(金) まで二週間の発信内容と情報量です。

<救援・支援情報内容と発信量>

日付	放送総計	情報内容
9/23(金)	65 分	※23PM19:00～24AM5:00 警報・避難指示・交通情報等
24(土)	29 分	交通・停電・断水給水情報等
25(日)	131 分	給水・停電・交通・休園休校・罹災証明申請・企業団体救援支援情報等
26(月)	126 分	給水・ごみ処理・交通・通信・罹災証明申請・企業団体救援支援情報等
27(火)	129 分	給水・ごみ処理・ボランティア・交通・罹災証明申請・救援支援情報等
28(水)	197 分	給水・ごみ処理・ボランティア・交通・罹災証明申請・救援支援情報等
29(木)	131 分	給水水道復旧・ごみ処理・ボランティア・罹災証明申請・救援支援情報等
30(金)	172 分	ごみ仮置き場・給水・水道復旧時の注意・救援支援情報等
10/1(土)	48 分	ごみ仮置き場・給水・水道復旧時の注意・救援支援情報・義捐金情報等
2(日)	25 分	ごみ仮置き場・給水・水道復旧時の注意・救援支援情報・義捐金情報等
3(月)	105 分	ごみ仮置き場・給水・災害住宅支援・義捐金・悪徳情報等

10/4(火)	108分	ごみ仮置き場・給水・災害住宅支援・義捐金・悪徳情報等
5(水)	85分	和田島給水開始・ごみ仮置き場・義捐金・悪徳商法等
6(木)	74分	給水・支援情報・何でも相談・悪徳詐欺情報等
7(金)	87分	給水・支援情報・何でも相談・悪徳詐欺情報等

<各審議委員からの意見>

望月委員長

審議委員の中でも被災された方もいらっしゃいますし、静岡市とりわけ清水区の中でも温度差がありましたし、道を挟んで反対側は断水や停電等の被害も無かった地域もありました。一方では胸のあたりまで水没し、大変混乱した生活を送らざるを得ない地域もありました。

コミュニティFM局の使命として「地域を守る為の防災情報の発信」があり、大きな期待が寄せられています。そうした中で、事務局からの説明がありました様に情報収集も大変な中で、情報発信に努めてくれたと思います。委員の皆さま方のご意見を伺いたいと思います。

小塚委員講評

私は駒越に住んでいますが、長い間断水に苦しめられました。近くに浴場施設があるのですが、大変な混雑と渋滞で断念し、サービスエリアの施設でシャワーを浴びた事もありました。沼津や富士宮まで入浴に足を伸ばした方もいたようです。私も疲れを取る為に途中から宿泊施設を利用していました。

情報発信としては、行政情報に加えて民間企業・団体の救援支援情報が多く盛り込まれ、コミュニティFM局ならではの発信だった様に思います。只、ボランティアについては、どの分野のボランティアが欲しいのか？の情報が欲しかったです。

馴染みのラーメン屋さんが被災しました。その後を取材しての放送を期待しています。

青木委員講評

私は駿河区民で被害は無かったのですが、会社のある“みほしるべ”は浸水し、被災したスタッフを守らなくては…と気持ちを切り替えました。

エフエムしみずは、清水唯一のコミュニティFM局で重要な役割を担っていました。私はSNS世代ですが、そうではない人にどの様に情報を届けるのか？ラジオの役割が大切だと感じました。

今回の事態に際しては、一日中情報を流し続けても良かったのではないかと思います。

ツイッターでも発信をしていましたし、HPでのテキストデータの発信は良い取り組みですが、今後は、SNSでの発信の充実も検討をして頂きたいと思います。

新井委員講評

所用で三連休は静岡を離れていましたが、豪雨被害を耳にし情報を探したのですが、思うように情報が取れずに焦りました。HPへのアクセスやサイマル放送等から情報入手出来たのだと後悔しています。

今回の取組では、放送だけでは電話番号など詳細を知る事が難しいですが、HPへのアップで確認できる事は評価出来ます。

体験談などを取材し、今回の台風15号を検証して頂きたいと思います。

大塚委員講評…書面審議

静岡市だけでなく民間の皆さんの支援策まで幅広くお知らせをいただき、ありがとうございました。これらの充実した情報をどのようにして多くの皆さんに届けるか、例えば、放送機会を増やしていただく、ラジオを受信できる人を増やす、ラジオを聴く人を増やすといった取組が必要だと思いました。

岡嶋委員講評…書面審議

このような地域に密着した支援情報はまさにコミュニティFMの真骨頂だと思います。必要な情報に対してだれでもアクセスできるような手段は災害が起こった時に最も求められるものであり、このような情報を機動力良く伝える手段があることが貴重と考えます。当社でも生活用水・飲料水をドリームプラザ・ベイドリームで配布しましたが、そこで配布をしていることをどのように市民の皆さんに伝えるか、苦慮しました。この時は御社にお願いをすることが出来たのは非常にありがたかったです。個人としても大変な時期にこのような放送をすることは従業員の方にとっても負担が大きかったと思います。引き続きこのような取組をしていただければ幸いです。

望月委員長

委員の皆さん、貴重なご意見を有難うございました。今回の経験を糧にして今後もコミュニティFMラジオ局として頑張ってくださいと思います。

<今後の特別番組>

- アグリフェスタしみず 2022…11月20日(日)午前9時～10時55分放送
3年ぶりの開催となったアグリフェスタを清水マリンパーク会場から生放送
- 第30回市民による歓喜の歌大演奏会…12月4日(日)午後2時～4時頃 生放送
3年ぶりの開催となった歓喜の歌。節目の年を迎え、ベートーベン交響曲第九番全楽章を演奏。
なお、12月31日(土)再放送。
- 年末特別番組「台風15号が残した教訓～その時、どこで何が～」
…12月31日(土)午前10時～午後2時 生放送

台風15号は、被害が清水区に偏っている特異な台風でしたが、清水区内でも地域によって大きな差異があります。区内を13地域に分け、9月23日(金)夜半から9月25日(日)以降までの時間軸の中で地域ごとへのインタビューを通して「その時に何が起こったのか?」「その時にとった行動は?」そして「被災者の心の一筋の光が見えた瞬間は…?」を解き明かし、自然災害等に際して何が必要かを考えていきます。

(了)